

質問例に対する回答例

対象商品	夢のプレゼント ・ニッセイ指定通貨建生存給付金付変額保険(米ドル建・豪ドル建)
--------------------	---

1. 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

質問例	回答例
① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。	大和証券では、『『お客さまのために』を合言葉に、お客さまのニーズをいち早く理解し、お客さまにとってベストな提案、お客さま一人ひとりにご満足いただけるサービスに努め、安心してお取引いただけることを目指してまいります。』を勧誘方針に掲げ、お客さまにふさわしい商品・サービスの提供に努めます。また、お客さまのライフステージに応じた資産運用・資産形成ニーズを的確に把握するとともに、潜在的なニーズも汲み取るよう努めます。 そのうえで、商品・サービスの開発や選定を適切に行う体制を整備するとともに、多様なラインアップの中からお客さまの個別のニーズに適合した付加価値の高い商品・サービスを提供するよう努めます。 この商品のご提案は、お客さまからいただいた「（当初）意向アンケート」にもとづいております。
② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。	※募集代理店様としてのフォローアップについては、募集代理店様ごとのアフターフォローの基準を踏まえ、募集代理店様にて回答を作成ください。 日本生命のフォローアップについては以下のとおりです。 ・年4回(毎年の契約応当日とその3カ月ごとの応当日以降)「ご契約状況のお知らせ」を郵送します。(作成時の積立金額や解約払戻金額等を記載しております) ・また、毎年の契約応当日の2カ月前を目途に、「生存給付金お支払いのご案内」を郵送します。(生存給付金の支払予定金額を記載しております) ・日本生命のホームページでは、ID・パスワードを設定することにより、最新のご契約内容・運用状況の確認、その他各種手続きができます。 ・詳細は「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報) 兼 商品パンフレット」の商品パンフレット「契約者代理制度・アフターサービスについて」、資料・早見表「ご契約後に日本生命より郵送する書類」をご確認ください。 ・ご不明点等があれば、募集代理店担当者、もしくはニッセイダイレクト事務センター(0120-375-621)にお問合せいただきますようお願いいたします。
③ この商品が複数の商品を組合せたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。	一般的に、以下のメリット・デメリットがあると考えられます。 【メリット】 ・一つの商品で運用機能・保障機能が揃うため契約の管理がしやすい ・運用方法(投資先)は日本生命が設定し、定率部分は指定通貨建で積立利率により運用され、運用実績連動部分は特別勘定で運用されるため、お客さまご自身で個別銘柄を選ぶ必要がない ・万一の際、死亡保険金として受取る場合は、その全額が受取人の固有財産となる 【デメリット】 ・運用機能・保障機能が一体化しているため、片方だけの変更(解約等)ができない ・市場動向等に応じた運用方法(投資先)の変更ができない
④ 生存給付金額が円受取の目標額に到達しなかった場合について説明してほしい。	「円で目標設定タイプ」では、毎年の生存給付金に円受取の目標額を設定することができ、基本生存給付金額と同額を定率部分から毎年払出し、円受取の目標額に応じて調整を行います。 基本生存給付金額だけでは円受取の目標額に到達しない場合は、可能な限り目標準備金を充当して目標到達をめざします。 また、目標準備金を全額充当しても足りない場合は、運用実績連動部分から上乗せ生存給付金額を振替え、目標到達をめざしますが、運用実績連動部分からの振替金額が不足する場合には、円受取の目標額に到達しません。

2. リスクと運用実績（この商品は、円建の元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

質問例	回答例
⑤ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。	※以下はあくまで例です。お客さまの理解度は様々かと思しますので、実際に回答される際はお客さまの理解度に応じ適宜変更ください。 【為替変動リスク】 生存給付金・死亡保険金・解約払戻金等の円換算額は為替レートの変動の影響を受け、円払込金額または払込金額を責任開始日の円入金用為替レートで円に換算した金額を下回ることがあります。例えば、10 万米ドルの円換算額について、契約日において 1 米ドル=100 円だった場合、10 万米ドル×100 円=1,000 万円となりますが、解約日において 1 米ドル=90 円(=契約日より円高)となった場合、10 万米ドル×90 円=900 万円となり、同じ 10 万米ドルでも円換算額が減少します。 【金利変動リスク】 解約払戻金は市場金利調整により、国債の流通利回りの変動の影響を受けます。解約払戻金額と生存給付金支払合計額等の合計が一時払保険料を下回ることがあります。例えば、市場金利が契約時 1.0%から解約時 1.5%に上がった場合、解約払戻金額は減少します。 【特別勘定資産の価格変動リスク】 運用実績連動部分の積立金額は特別勘定で運用されるため、保険金等は様々な投資対象の価格の変動の影響を受け、少なくなることがあります。したがって、解約払戻金は、運用実績連動部分の積立金額が減少するほど少なくなります。 【解約時の元本割れリスク】 解約払戻金額を計算する際、一時払保険料*に保険期間別の経過年数に応じた解約控除率(4.0%～0.0%)を乗じた金額が控除されます。 例えば、保険期間が 10 年かつ一時払保険料が 10 万米ドルの場合で、契約日から 1 年未満に解約をしたときは、一時払保険料 10 万米ドルの 4.0%にあたる 4,000 米ドルを控除します。 * 契約日贈与特則適用時は「一時払保険料-基本生存給付金額」になります。 上記のリスクは複合的に発生する場合があります、結果として予期しない損失が生じる可能性があります。
⑥ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。	「当社ホームページ」→「取扱商品」→「年金・保険」→「年金・保険ナビ」より検索が可能です。
⑦ この商品は元本が保証されているか説明してほしい。	特別勘定の運用実績、解約時の市場金利、為替レートの変動等により、損失が生じることがあるため、元本割れのリスクがあります。
⑧ 為替レートの変動と損失がどのように関係するのか説明してほしい。	契約日より解約日の為替レートが円高になった場合、円換算の受取額が減少し損失が発生する可能性が高まります。 例えば、10 万米ドルの円換算額について、契約日において 1 米ドル=100 円だった場合、10 万米ドル×100 円=1,000 万円となりますが、解約日において 1 米ドル=90 円(=契約日より円高)となった場合、10 万米ドル×90 円=900 万円となり、同じ 10 万米ドルでも円換算額が減少します。
⑨ 金利の変動(定率部分)と損失がどのように関係するのか説明してほしい。	解約払戻金は市場金利調整により、国債の流通利回りの変動の影響を受けます。(定率部分は、債券等への投資によって積立金額をふやすしくみとなっております。債券は金利が上昇すると時価が減少します。 解約払戻金の計算には、この債券の時価変動を反映させるために、市場金利調整を導入しています。) 【市場金利が上がった場合】 例えば、市場金利が契約時 1.0%から解約時 1.5%に上がった場合、解約払戻金額が減少し、損失が発生する可能性が高まります。

	【市場金利が変わらなかった場合】 例えば、市場金利が契約時 1.0%で解約時も 1.0%だった場合、解約払戻金額が減少し、損失が発生する可能性が高まります。 (変わらなかった場合も、債券を売却するための費用等をふまえ差引いた率 0.1%の影響を受け、減少します。) 【市場金利が下がった場合】 例えば、市場金利が契約時 1.0%から解約時 0.5%に下がった場合、解約払戻金額が増加し、損失が発生する可能性は低下します。
⑩ 運用実績の増減(運用実績連動部分)と損失がどのように関係するのか説明してほしい。	解約払戻金額は、運用実績連動部分の積立金額が増加するほど大きくなり(損失が発生する可能性が低下)、減少するほど小さくなります(損失が発生する可能性が上昇)。
⑪ 過去の運用実績ではなく、保険商品としての機能やメリット(デメリット)について説明してほしい。	機能：重要情報シート 1/4「金融商品の目的・機能」に記載のとおりです。 メリット：毎年、円で一定額を大切な方に「わたす」、またはご自身で受取って「つかう」ことができます。 デメリット：特別勘定の運用実績、解約時の市場金利、為替レートの変動等により、損失が生じることがあるため、元本割れリスクがあります。

3. 費用（この商品の購入または保有には、費用が発生します）

質問例	回答例
⑫ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。	【購入時・継続的に支払う費用】 ・定率部分にかかる保険契約関係費は積立利率を定める際にあらかじめ控除しております。 ・運用実績連動部分は、保険契約関係費や資産運用関係費がかかります。 【解約をした場合の費用】 ・例えば、保険期間 10 年のご契約で一時払保険料が 10 万米ドルの場合には、契約日から 1 年未満に解約をしたときは、一時払保険料 10 万米ドルの 4.0%にあたる 4,000 米ドルを控除します。 【通貨の換算・特約の付加にかかる費用】 ・例えば、円入金特約を付加して一時払保険料を円でお申込みいただいた場合、以下の為替手数料がかかります。 (日本生命が保険料を受領した日の為替レートを 1 米ドル = 99.5 円と仮定) 為替手数料を加味しない場合、1,000 万円お申込みいただくと 100,502 米ドルが一時払保険料となります。一方、為替手数料を加味した場合の 為替レートは、$99.5 + 0.5$ により 1 米ドル = 100 円で換算することになり、1,000 万円お申込みいただくと 10 万米ドルが一時払保険料になります。 つまり、差額 502 米ドル分を為替手数料としてご負担いただいていることになります。 上記の他にもかかる費用があります。詳細については、「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報) 兼 商品パンフレット」の契約概要「解約払戻金」「特約」・注意喚起情報「諸費用」をご確認ください。
⑬ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。	「当社ホームページ」→「取扱商品」→「年金・保険」→「取扱商品一覧」にある商品概要書にて、各商品の費用や商品内容をご確認いただけます。

4. 換金・解約の条件（この商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

質問例	回答例
⑭ 私がこの商品を解約した場合、解約控除、市場金利の変動、運用実績の増減、為替レートの変動が解約払戻金にどのように影響するのか説明してほしい。	【解約控除】 解約控除は契約日から解約日までの期間が短いほど大きくなり、長いほど小さくなります。 解約控除が大きいと解約払戻金額は小さくなり、小さいと解約払戻金額は大きくなります。 【市場金利の変動】 契約日より解約日の市場金利が上がれば解約払戻金額は小さくなり、下がれば解約払戻金額は大きくなります。 また、契約日と解約日の市場金利が変わらなかった場合も解約払戻金額は小さくなります。 【運用実績の増減】 運用実績連動部分の積立金額が増加するほど解約払戻金額は大きくなり、減少するほど解約払戻金額は小さくなります。 【為替レートの変動】 解約払戻金を円で受取る場合、契約日より解約日の為替レートが円高になると解約払戻金額は小さくなり、円安になると解約払戻金額は大きくなります。 解約払戻金は上記の要素の影響を複合的に受けて変動します。詳細については、「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報) 兼 商品パンフレット」の契約概要「解約払戻金」・注意喚起情報「リスク」「諸費用」をご確認ください。

5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

質問例	回答例
⑮ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。	大和証券では、法令諸規則のみならず社会通念や良識に照らし合わせ、高い倫理観に基づく強い自己規律を持って業務に取り組みます。お客さまに対して適切ではない取引が行われることのないよう、お客さまとの利益相反の可能性を把握し、適切に管理します。 商品開発、商品・サービスの提供、資産運用等のそれぞれの場面における、お客さまとの間の利益相反の可能性を十分把握し、適切に管理するため、利益相反管理方針※を策定・公表しています。 ※利益相反管理方針の概要は「当社ホームページ」→「利益相反管理方針の概要」をご参照ください。